

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 平成 29 年度)

施設の名称	東大阪市立角田総合老人センター	指定期間	27年度～	31年度
		指定の方法	複数施設を一括指定管理	
施設所管課	福祉部高齢介護室高齢介護課	連絡先	笠井(内線2775)	
設置目的	地域の高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者に健康で明るい生活を営ませるもの。			
施設内容・業務内容等	クラブ活動、教養講座、レクリエーション事業、地域交流事業、各種相談事業、シルバーボランティアセンター事業、高齢者地域支え合い体制づくり事業など。			
指定管理者	社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会	連絡先	072-962-8011	
人員体制	正規職員	10人	パート・アルバイト	人
			その他	1人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	292	295	294	293	293
指定管理委託料(千円)	99,161	112,045	113,540	112,542	114,493
利用状況	1 延利用者数(人)	44,047	39,798	27,046	補足説明
	2 クラブ活動延参加者数(人)	5,390	5,128	5,538	補足説明
	3				補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者地域支え合い事業の協力企業、会員数を伸びが鈍化しているため、新規協力者を取り込めるよう広報活動の強化が必要である。 ・新しい取り組みも重要であるが、既存の取り組みも軽視せず実施していただきたい。 ・事業についての報告、連絡、相談については逐次行われ、市との連携は図れていた。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が進んでいるため、予算要求の時期にその根拠を示せるよう計画的に点検事務を行うことが望ましい。 ・緊急度、重要度から優先順位を考え、計画的に修繕を行う必要がある。 ・備品については市と指定管理者の所有区分が不明確であり、現存する備品と年度当初の備品リストの整合性が定かでないため、整理が必要である。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修などに積極的に参加し、職員の能力向上に努められたい。 ・教室の空き状況を入力付近に表示するなど、施設情報を周知する工夫がなされている。 ・業務のミスについては、事例を蓄積して都度ミスを防止する対応策を考えることが必要である。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを活かして利用者のニーズを事業に反映させられるような仕組みづくりが必要である。 ・ホームページの更新頻度が低いため、随時更新することが望ましい。 ・毎月チラシを発行しているが、イベントの告知が主となっており、利用者の様子を伝える内容が記載されていないため、利用者にとって有益な内容も検討してはどうか。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	B	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流事業など、地域と連携しながら事業を実施している。 ・前年度より利用者数が減少していることもあり、利用者1人あたりの管理費用も増加しているため、利用者の獲得と経費の削減が急務である。 ・空いているスペースの活用など、施設を最大限に利用して稼働率を上げていく必要がある。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	B	<ul style="list-style-type: none"> ・悠友塾(委託事業)では環境コースを設け、環境意識の啓発を行っており、好評である。 ・プライバシー付与認定やISMSを取得し、個人情報保護や情報セキュリティに関する体制を整備していくことが望ましい。 ・情報公開の取り組みについては、事業計画書や事業報告書等を館内掲示すべきである。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	柱となる高齢者支え合い事業については協力企業、会員数が停滞している。企業への顕彰を行い、事業を広く周知するとともに協力企業の拡充を目指す。また、指定管理者選定時に「老人センターを地域福祉の活動拠点と位置付け、地域の福祉力を底上げしていきたい」とあったように、社会福祉協議会のネットワークを活かして地域と連携を図りながら、事業を実施していただきたい。